

第 3 回 焼 畑 サ ミ ッ ト i n 大 分

よみがえる「農」と暮らしのかたち

2009年11月13日(金)10:00-17:00
コンパルホール 1 F 文化ホール(大分市)

参加無料、申込不要(先着順/定員500名)

主催・総合地球環境学研究所 里プロジェクト / 共催・大分大学
後援・大分県、大分市、大分合同新聞、NHK大分放送局
協力・椎葉村教育委員会、西米良村教育委員会、民族文化映像研究所



第3回 焼畑サミット in 大分

よみがえる「農」と暮らしのかたち

地球環境問題に対する関心の高まりの中で、いまあらためて私たちひとりひとりのライフスタイルが問われています。日本には、風土に即した豊かな生活文化が様々な伝えられてきましたが、その多くが地域経済の崩壊とともに失われ、国土の大半を占める山林は、かえりみられることなく荒れ果てようとしています。本企画はそうした動向に留意しつつ、わが国の里山文化、特に焼畑をはじめとする伝統的な農業と暮らしの姿を手がかりに、そこに見られる知恵をどのようにいまの暮らしに生かしていくか考える試みです。

第3回になる今回は大分を会場とします。九州各地にいまなお伝わる焼畑や山焼きに注目するとともに、大分の事例をケーススタディとして、これからの「農」と暮らしのあり方を検討していきます。大分では、いち早く導入されたグリーンツーリズムなど、逆境を克服し農の知恵に代表される地元資源を生かしながら、都市と農村の交流をはかり地域の暮らしを再生しようという先駆的な試みが行われてきました。大分でいままさに取り組まれようとしている活動にスポットをあてることで、風土に根ざした「生きた」生活文化をいかに現代の暮らしの中で再生するかについて、具体的に有意義な検討ができるものと期待しています。

自然とながくまつきあっていくための暮らしの「かたち」を思いえがく場にぜひ皆様もご参加ください。

photo by Seiji Sato

プログラム

敬称略

10:00 開会挨拶 平野 昭（大分県副知事）

部 基調講演

10:10 「九州山地の焼畑民俗—循環と再生の思想」

野本 寛一（近畿大学名誉教授）

「火のある暮らしが新しい—大分の思い出」

麻生 圭子（エッセイスト）

進行：原田 信男（国土館大学21世紀アジア学部教授）

11:20 座談会「火と現代の暮らし」

麻生 圭子、野本 寛一

進行：佐藤 洋一郎（総合地球環境学研究所副所長・教授）

12:00 休 憩（60分）

部 報告「山がよみがえる、山とよみがえる」

13:00 「焼畑再生奮闘記」

浜砂 定廣（宮崎県西米良村・元森林組合長）

椎葉 英生（宮崎県椎葉村・民宿「龍神館」主人）

「火を守る—山焼き千年持続の秘訣」

山内 康二（熊本県阿蘇市・阿蘇グリーンストック専務理事）

進行：川野 和昭（鹿児島県歴史資料センター黎明館学芸課長）

14:30 休 憩（15分）

部 シンポジウム

「大分発：いま再生される農と暮らしの“かたち”」

14:45 問題提起

「これからの大分の農が目指すもの」

森下 幸生（大分県農林水産部審議監）

「過疎一次産業地域の再生モデル」

石川 雄一（大分大学工学部准教授）

「森林・草原を生かすこと - 新たな水土の知を目指して -」

窪田 順平（総合地球環境学研究所准教授）

15:45 休 憩（10分）

15:55 パネルディスカッション

あん・まくだなど（国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット所長）

宇根 豊（農と自然の研究所代表理事）

笠松 浩樹（島根県中山間地域研究センター主任研究員）

山浦 陽一（大分大学経済学部准教授）

山岸 治男（大分大学教育福祉科学部教授）

コメンテーター：羽野 忠（大分大学学長）

進行：神足 博美（大分合同新聞社取締役編集局長）

16:50 閉会挨拶 佐藤 洋一郎（総合地球環境学研究所副所長・教授）

総合司会：鞍田 崇（総合地球環境学研究所上級研究員）



野本寛一（のもと・かんいち）— 近畿大学名誉教授

1937年静岡県生まれ。1959年国学院大学文学部卒。文学博士。専攻は日本民俗学。現在、近畿大学名誉教授、柳田國男記念伊那民俗学研究所所長。特に自然に密着して生きる人々の民俗に着目し「生態民俗学」を提唱、日本人と自然環境の関わりについて独自の考察を深めたことで知られる。著書に『生態民俗学序説』白水社、『焼畑民俗文化論』雄山閣、『板と餅』岩波書店、『生態と民俗』講談社学術文庫など、多数。なお、九州山地の民俗を扱ったものとして、『山地母源論』（岩田書院）がある。

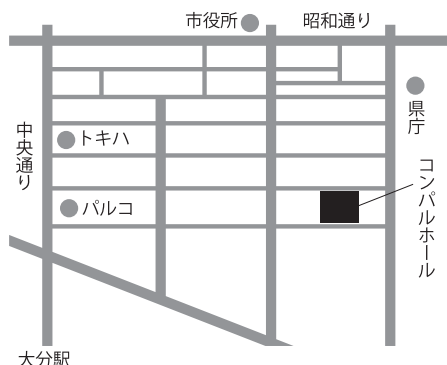


麻生圭子（あそう・けいこ）— エッセイスト

1957年大分県生まれ、東京育ち。作詞家として活躍した後、エッセイストに。1996年から京都に在住。伝統的な日本の暮らしの豊かさを、現代的な視点でつづったエッセイを数多く手がける。著書に『京都で町家に出会った。—古民家ひっこし頼末記』文春文庫、『京都がくれた』小さな生活、（集英社be文庫）、『茶わん眼鏡で見た、京の二十四節気』日本経済新聞出版社、『東京育ちの京都探訪—火水さまの京』文藝春秋など、多数。なお、父方の親戚は大分県九重町の八鹿酒造。

会場：コンパルホール 1F文化ホール 2009年11月13日（金）

参加無料・申込不要（定員500名）



〒870-0021 大分県大分市府内町1丁目5番38号
Tel：097-538-3700 Fax：097-534-4049

□ アクセス

- 鉄道 — JR大分駅下車 徒歩10分
- バス — 大分駅停留所下車 徒歩10分
- 駐車場 — ご利用料金：30分までごとに100円（ただし、最初の30分以内は無料）
 - ・駐車可能台数
 - 地下駐車場 150台
 - 屋外駐車場 40台
- 駐輪場 — 駐輪可能台数 225台

お問合せ 総合地球環境学研究所
里プロジェクト（担当：鞍田）

tel: 075-707-2382 fax: 075-707-2508
e-mail: kurata@chikyu.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所（地球研）

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
<http://www.chikyu.ac.jp>